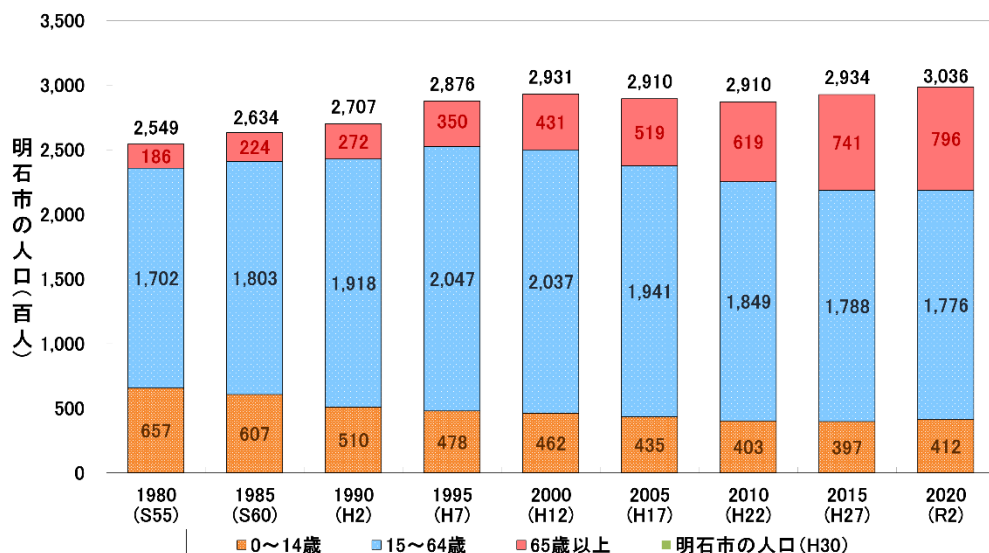


資料編

1. 市の現況

(1) 人口

- 人口は、近年約 29 万人で横ばい傾向にありましたが、2010 年以降増加傾向にあります。

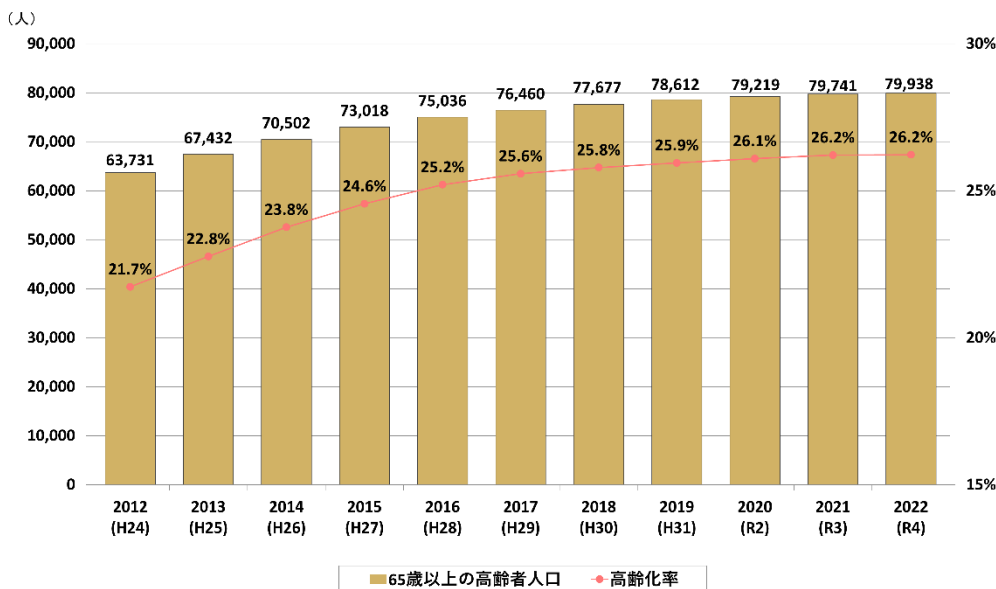


出典：国勢調査
(1980年～2020年)

図.人口の推移

(2) 高齢者の推移

- 2019 年の高齢者は約 7 万 9 千人、高齢化率は約 26%であり、直近 10 年では毎年増加しています。



出典：明石市年齢別人口
(住民基本台帳人口)
各年 4 月 1 日
(明石市 HP)

図.高齢者人口・高齢化率の推移

(3) 障害のある人の推移

- 障害のある人の人口は増加傾向にあり、総人口の約 6%を占めています。
- 身体障害のある人は 2013 年以降微減傾向にありますが、知的障害のある人や精神障害のある人はやや増加傾向にあります。

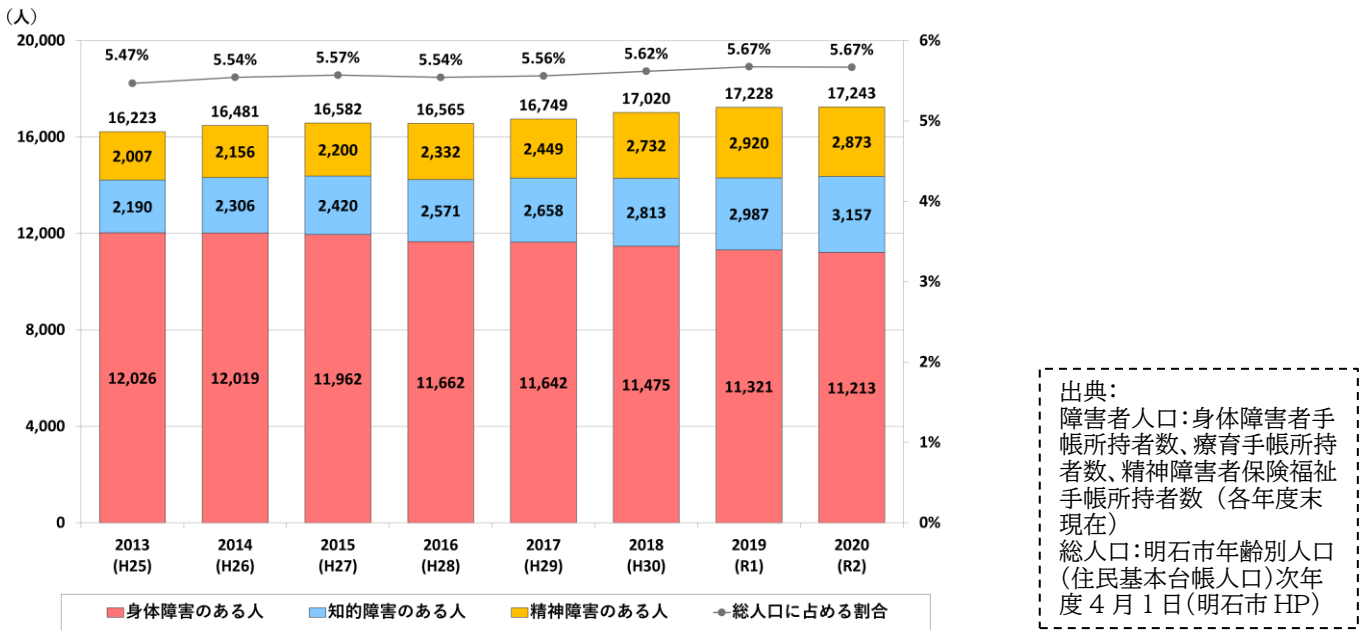


図.障害のある人の推移

(4) 公共交通

① 鉄道ネットワーク

- 鉄道は、JR 山陽新幹線、JR 山陽本線（神戸線）、山陽電鉄本線が通っており、神戸市内、大阪市内等を結んでいます。鉄道駅は、駅舎の主要部分が播磨町に立地している「土山駅」を含めた 18 駅が立地します。
- バリアフリー法でバリアフリー化が義務づけられる 1 日あたり乗降者数が 3,000 人以上の鉄道駅は、山陽電鉄本線「大蔵谷駅」「人丸前駅」「藤江駅」「中八木駅」「西江井ヶ島駅」「山陽魚住駅」を除く 12 駅が該当します。



図.明石市の鉄道ネットワーク

② 駅のバリアフリー化状況

- 18 駅の中には、駅構内の移動経路等において、バリアフリー化が必要な駅が存在します。

事業者	駅名	令和3 (2021)年度 乗降者数 (人/日)	バリアフリー化状況					備考	駅員 の 状況
			エレベーター/エスカレーター		スロープ	触知図式 案内板	トイレ		
駅構外⇄ コンコース		コンコース⇄ ホーム							
JR	朝霧	23,699	—	◎	—	◎	◎	下りエスカレーターなし	常駐
	明石	86,175	—	◎	—	◎	◎(2箇所)	下りエスカレーターなし	常駐
	西明石	53,595	西口:◎ 東口:○	西口:◎ 東口:○	○(構内)	西口:◎ 東口:○	改札外:◎(東口) 改札内:◎(西口)*大型ベッド有	下りエスカレーターなし	常駐
	大久保	33,299	◎	◎	—	◎	◎	下りエスカレーターなし	常駐
	魚住	19,370	◎	◎	—	◎	◎	下りエスカレーターなし	常駐
	土山	23,315	◎	◎	—	◎	◎	下りエスカレーターなし	常駐
山陽電鉄	大蔵谷	2,477	—	×	×	×	△	各ホームへの移動は階段のみ	—
	人丸前	1,578	—	◇	○(構内)	×	○		—
	明石	26,603	◎	◎	—	◎※音声	◎		常駐
	西新町	5,414	◎	◎	—	◎※音声	◎		—
	林崎松枝海岸	5,342	—	×	—	×	△	ホームが相対式でホーム間の移動が階段のみ	—
	藤江	3,271	—	×	△		◎	上りホームへの移動は階段のみ	—
	中八木	3,392	—	×	△		◎	上りホームへの移動は階段のみ	—
	江井ヶ島	4,214	—	○	—	◎※音声	◎		—
	西江井ヶ島	2,882	—	×	△		◎	上りホームへの移動は階段のみ	—
	山陽魚住	2,433	—	×	×		△	各ホームへの移動は階段のみ	—
	東二見	7,595	○	○	—	◎※音声	◎		常駐
	西二見	5,200	○	○	○(構内)	◎	◎		—

車椅子対応幅広改札機とホーム内方線付点状ブロックは全駅で対応済。

..... 乗降者数3,000(人/日)以上の鉄道駅

※バリアフリー化状況について

・エレベーター/エスカレーター

◎: 両方設置済み

○: エレベーターのみ設置

◇: エスカレーターのみ設置

×: 未設置

—: 設置不要

・スロープ

○: 設置済み

△: 一部未設置

×: 未設置

—: 設置不要

・触知図式案内板

◎: 設置済み

×: 未設置

・トイレ

◎: 多目的トイレ(車いす・オストメイト対応)設置

○: 多目的トイレ(車いす対応のみ)設置

△: 多目的トイレが未設置

×: 未設置

出典: 令和4年度
明石市乗車人員調査
鉄道会社 HP 駅情報

③ バス路線

- バスは、鉄道駅を中心に路線バスが通っており、それ以外の地域で Taco バス(コミュニティバス)を運行しています。
- 1日あたり約 80,000 人(路線バス(神戸市営バスは含まず)及び Taco バスの合計)が利用しています。
- ノンステップバスの導入率は全体で 53.6%です。

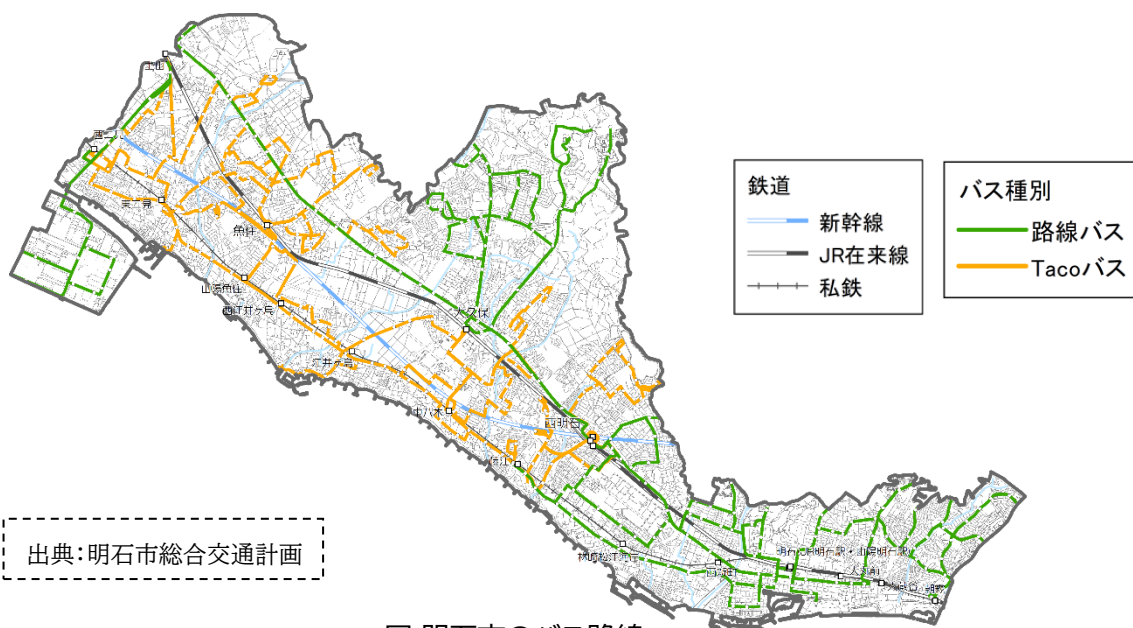


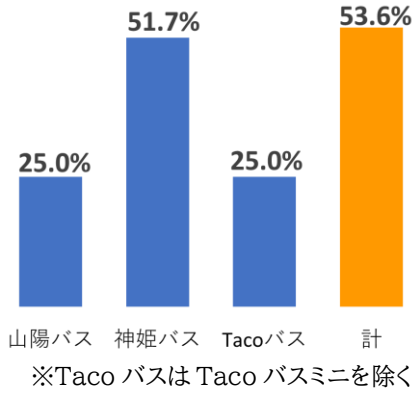
図.明石市のバス路線

1日あたりの平均利用者数

令和2年度(2020)	
山陽バス	7,252人/日
神姫バス	69,792人/日
Tacoバス	2,696人/日
合計	79,740人/日

出典:明石市統計書

明石市内のノンステップバス導入率



出典:明石市ノンステップバス導入率調査(令和3年3月末現在)

④ タクシー

- 明石市内の法人タクシーは1日あたり約4,900人が利用しています。
- 法人タクシー登録台数約336台(13社)のうち、ユニバーサルデザイン(UD)タクシーは22台*導入済です。*令和2年度末時点。

1日あたり法人タクシー平均利用者数

令和2年度(2020)
4,926人/日

出典:明石市統計書



UDタクシーの例

⑤ 旅客船舶(淡路ジェノバライン)

- 旅客船舶(淡路ジェノバライン)は1日あたり約1,500人が利用しています。
- 船内は車椅子利用者のスペースや乗船時の段差解消のため、折りたたみ式のスロープを備える等、バリアフリー化されています。

明石港 1日あたり平均乗降者数

令和2年度(2020)
1,567人/日

出典:明石市統計書



出典:明石市総合交通計画

図.淡路ジェノバラインの航路



(5) 施設等の立地状況

① 主な施設の立地状況

- 主な公共施設及び商業施設は、鉄道駅周辺に立地しています。

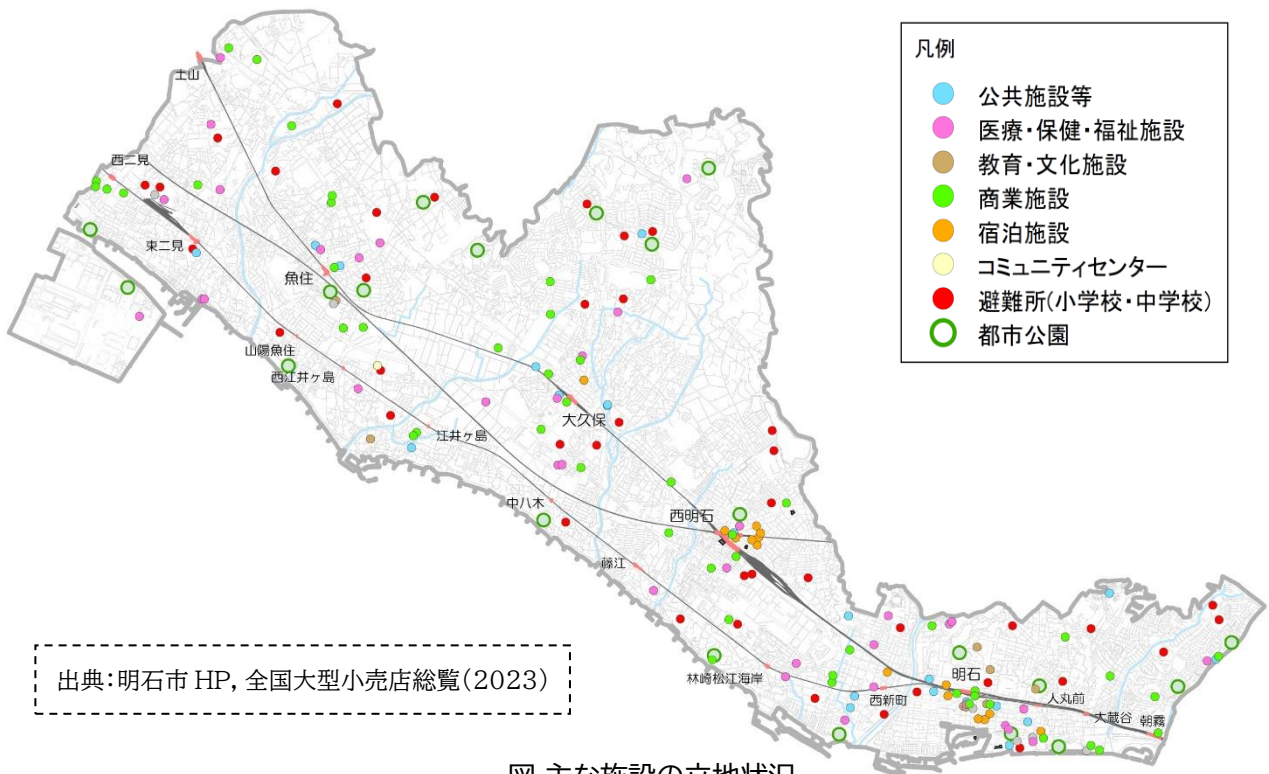


図. 主な施設の立地状況

② 主な都市公園の立地状況

- 市内には、広域公園 1 箇所、総合公園 2 箇所、地区公園 2 箇所、近隣公園 15 箇所が開設されています。

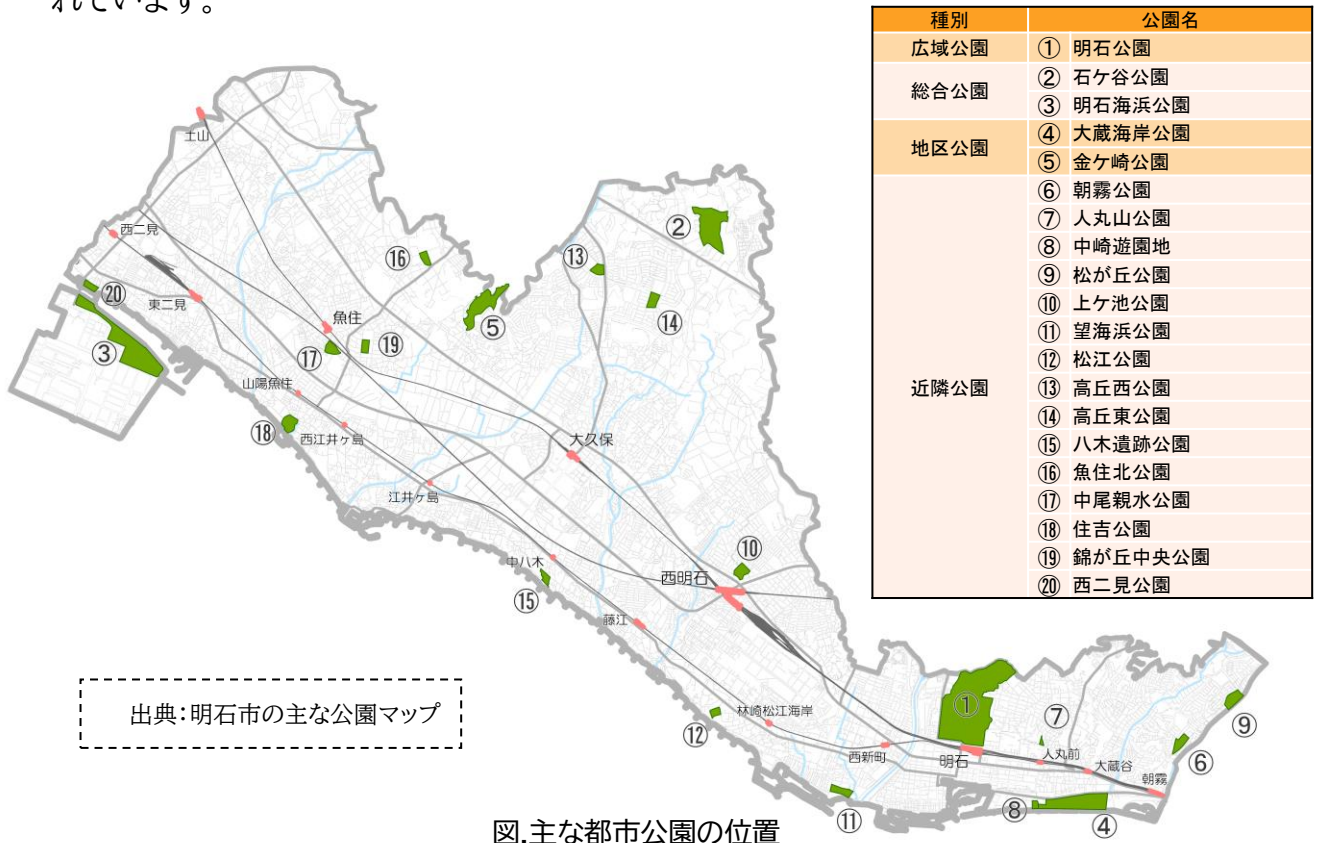


図. 主な都市公園の位置

参考)公園種別の定義

■広域公園

市町村の区域を超える広域のレクリエーション需要を充足することを目的とする公園。広域的なブロック単位ごとに1箇所当たり面積 50ha 以上を標準として配置。

■総合公園

都市住民全般の休息、観賞、散歩、遊戯、運動等総合的な利用に供することを目的とする公園で都市規模に応じ1箇所当たり面積 10～50ha を標準として配置。

■地区公園

主として徒歩圏内に居住する者の利用に供することを目的とする公園で誘致距離1km の範囲内で1箇所当たり面積4ha を標準として配置。

■近隣公園

主として近隣に居住する者の利用に供することを目的とする公園で近隣住区当たり1箇所を誘致距離 500m の範囲内で1箇所当たり面積2 ha を標準として配置。

③ 主な路外駐車場の立地状況

- 市内には、県営駐車場が 3 箇所、市営駐車場が 7 箇所、民間駐車場が19箇所立地しています。

特定路外駐車場

駐車のように供する部分が 500m² 以上、かつその利用に対して料金を徴収している路外駐車場のうち、道路付属物であるもの、公園施設であるもの、建築物であるもの、建築物に付随しているものを除いた駐車場。

駐車場名	設置主体				
	県	市町	公団	第3セクター	民間
1 山陽明石駐車場					○
2 兵庫県明石公園有料駐車場	○				
3 兵庫県明石公園協会駐車場	○				
4 吉川駐車場					○
5 明石市役所第1駐車場		○			
6 明石海浜第1駐車場		○			
7 山秀駐車場					○
8 西明石パークプラッツ					○
9 平成パーキング					○
10 兵庫県立明石西公園南駐車場	○				
11 中崎展望広場駐車場		○			
12 明石市立西部市民会館駐車場		○			
13 松江海岸休憩施設駐車場		○			
14 アスピア明石駐車場				○	
15 西明石パークプラッツ2					○
16 タイムズ明石大蔵海岸					○
17 タイムズビエラタウン西明石					○
18 タイムズ明石大蔵海岸龍の湯					○
19 明石海浜第2駐車場		○			
20 タイムズ西明石第3					○
21 NPC24H明石大久保パーキング					○
22 パピオス明石駐車場					○
23 タイムズ明石港					○
24 マイカル明石第1駐車場					○
25 マイカル明石第2駐車場					○
26 マイカル明石第3駐車場					○
27 マイカル明石第5駐車場					○
28 タイムズコムボックス明舞					○
29 兵庫県フットボールセンター明石グラウンド駐車場					○
30 GSパーク 明石魚の棚前					○
31 Park 21					○

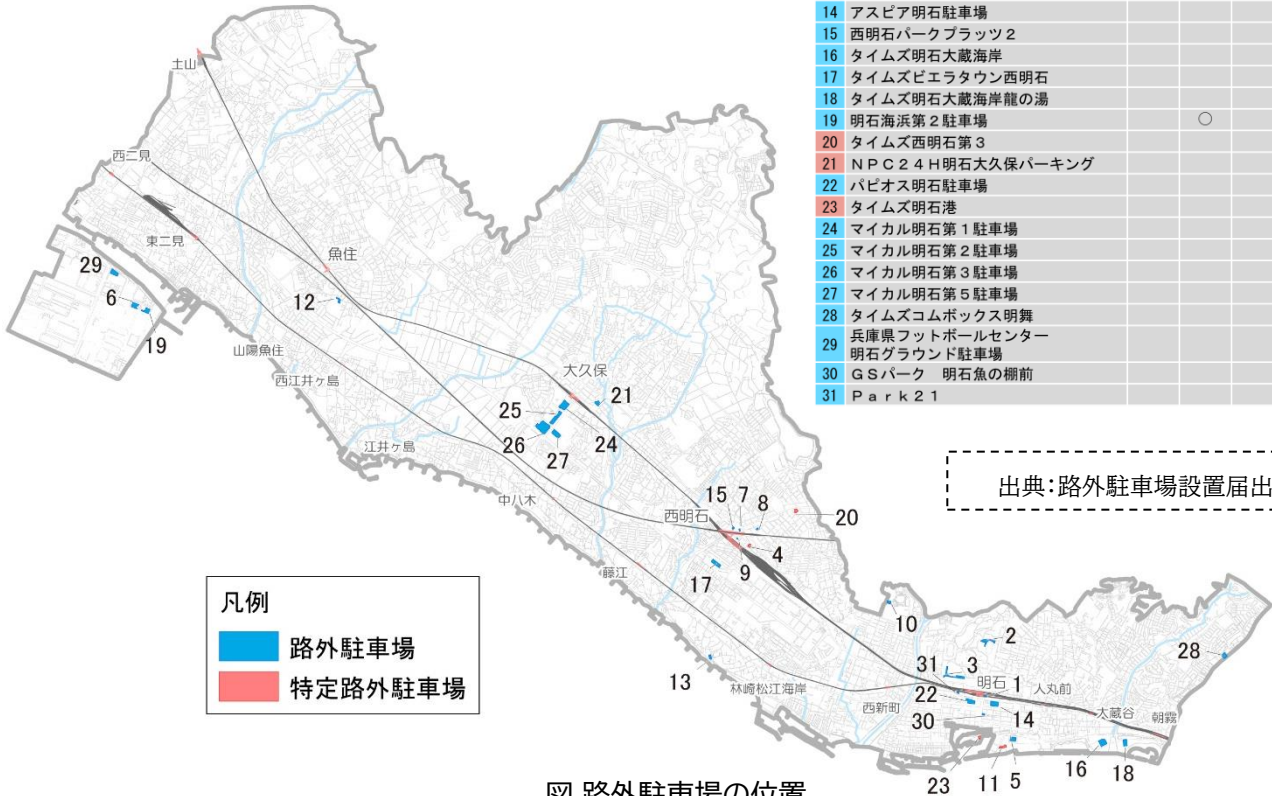
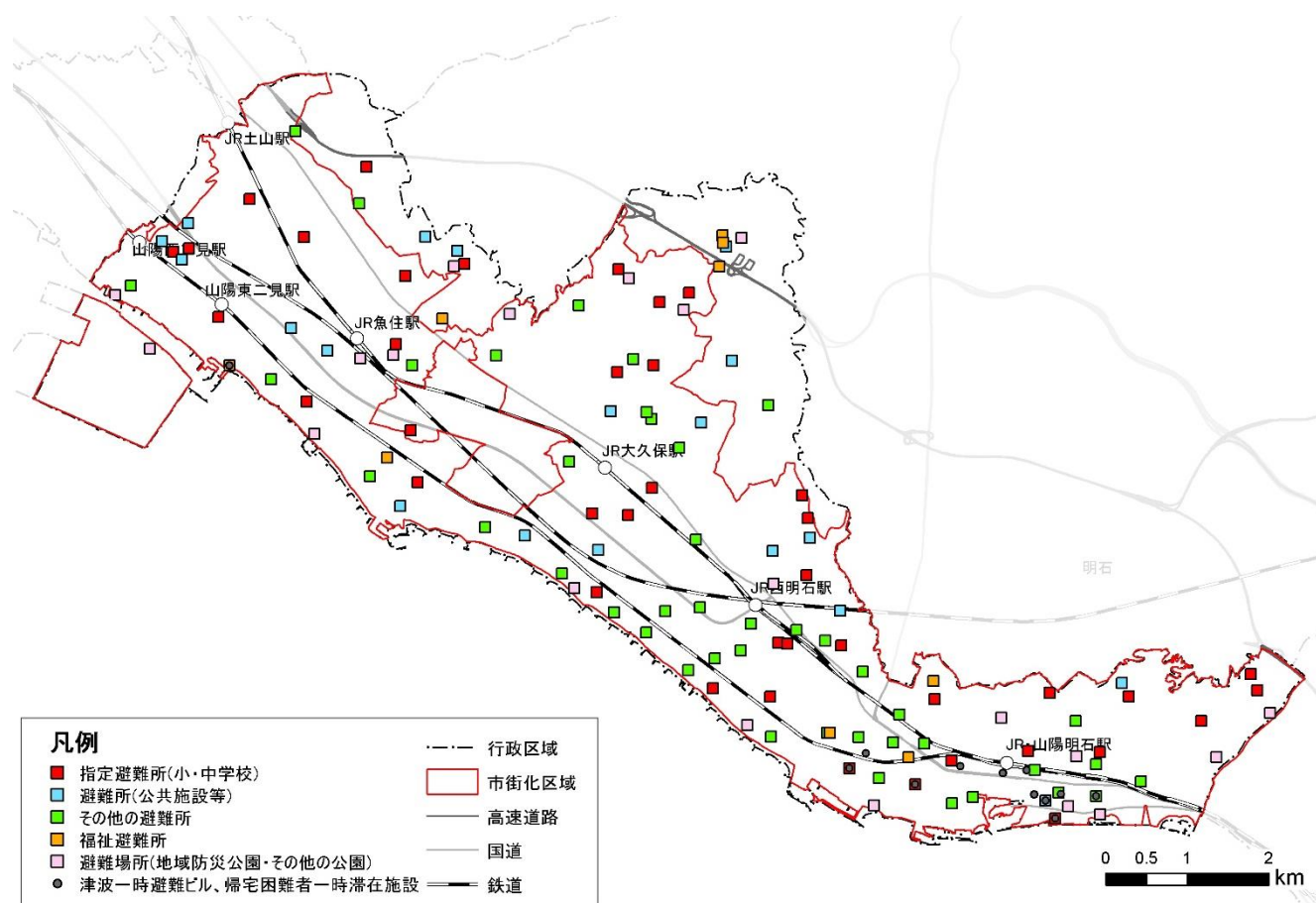


図.路外駐車場の位置

(6) 避難所の指定状況



2. 市民ニーズ(アンケート調査結果)

(1) 調査概要

【調査対象】

- 各団体及び子育て世代
- 一般(18歳以上)

【調査方法】

- 明石市ユニバーサルデザインのまちづくり協議会に参加している団体やその他市内の障害者団体に無記名式調査票の配布を依頼(各団体 30 通ずつ)。
- 子育て世代に対しては、子どもの検診の機会に手渡しにて配布。
- 無作為抽出にて選定した 18 歳以上の 1,000 人に対しては、郵送にて配布。

【調査時期】

- 各団体及び子育て世代:2019年2月16日以降配布、2019年3月5日締切り
- 一般(18歳以上):2019年2月17日郵送配布、2019年3月5日締切り

【主な調査項目】

1. 回答者の属性
2. 市内で利用する公共交通機関や道路、施設に対するバリアフリー化の重要度
3. 上記場所や施設について不便に感じる事
4. 上記場所や施設についてのバリアフリー状況の満足度
5. 心のバリアフリーの取り組みに対する必要性や重要度

- 全体の有効回答数は 467 部、回答率は 29.2%です。

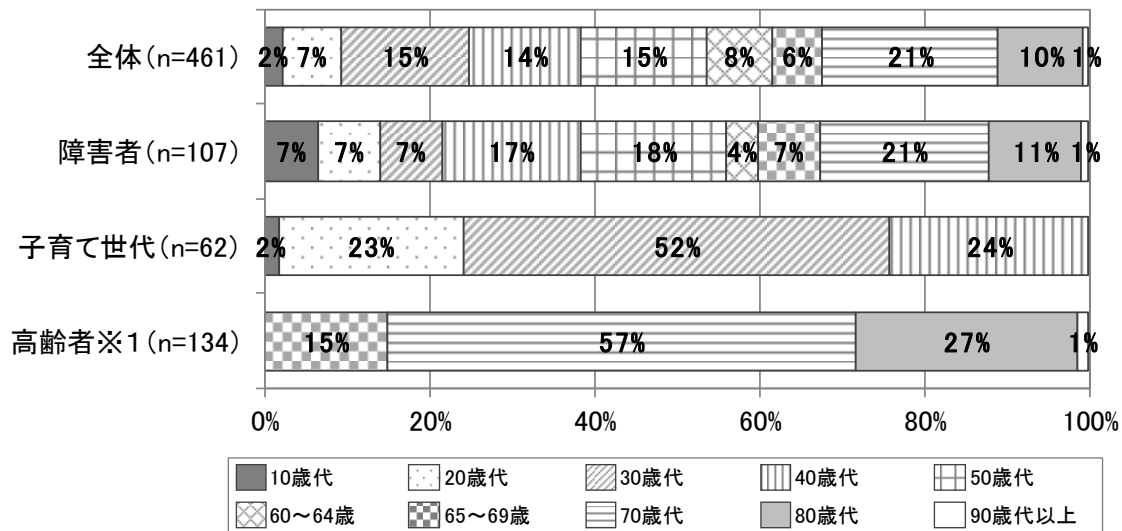
調査時期	配布対象		配布部数	有効回収数	有効回答割合	
配布:2/16以降 締切り:3/5	障害者	明石市身体障害者福祉協会	30	240	107	44.6%
		明石市視覚障害者福祉協会	30			
		明石ろうあ協会	30			
		明石ピアポの会	30			
		明石難聴者の会	30			
		明石地区手をつなぐ育成会	30			
		明石市肢体不自由児者父母の会	30			
		ともしびの会	30			
	子育て	明石市連合子ども会育成連絡会議	30	330	62	18.8%
		4か月検診	100			
		1歳半検診	100			
3歳児検診		100				
高齢者	明石高年クラブ	30	30	25	83.3%	
発送:2/17 締切り:3/5	一般	18歳以上～(無作為抽出/郵送)	1,000	273	27.3%	
-	合計		1,600	467	29.2%	

※ 表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがあります。

アンケート調査概要と有効回答数

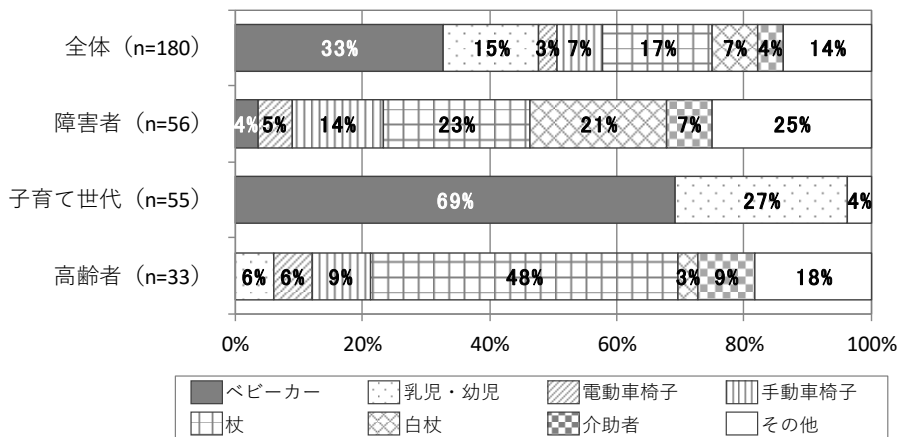
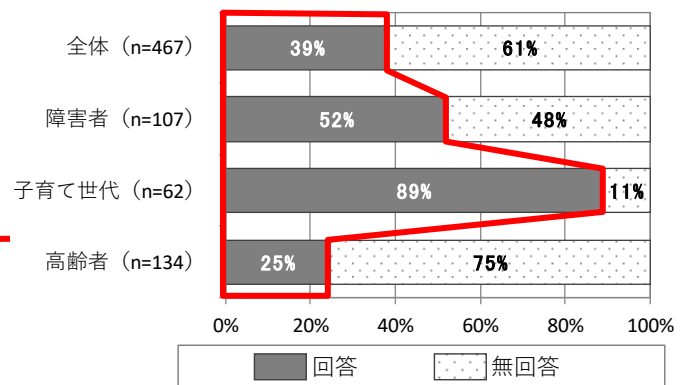
(2) 回答者の属性

- 回答者の年齢は、全体で「65歳以上の高齢者」が約4割を占めます。



※ 「n」は、有効回答数を示す。
 ※ 表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある。
 ※1: 高齢者は、団体(明石高年クラブ)への配布による回答と一般の郵送配布による回答のうち 65歳以上の方を合計している。

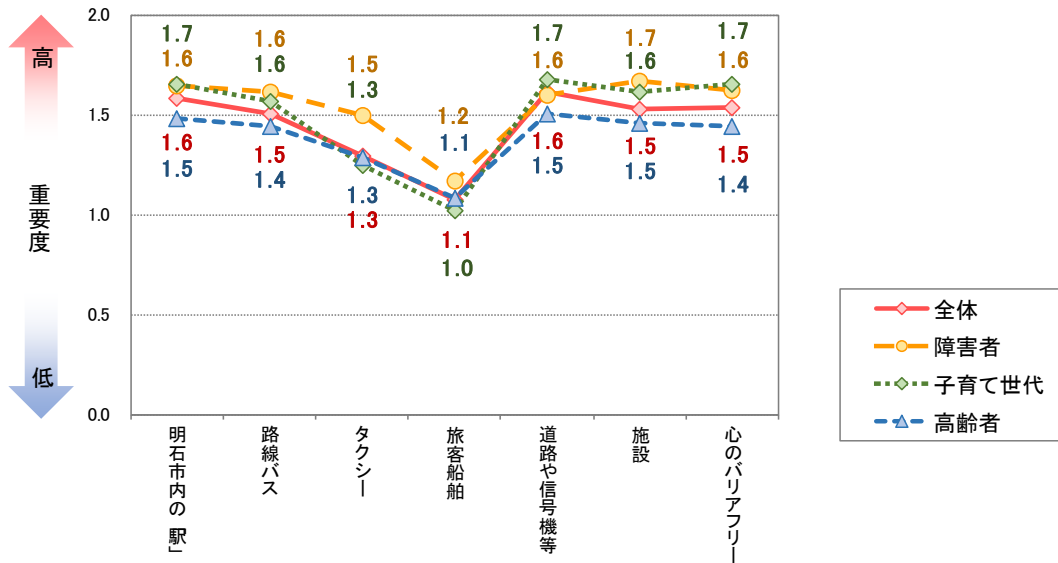
- 移動時の不便は、全体で4割があると回答しています。
- 移動時の不便の内容は、全体で「ベビーカー」が最も多く、次いで「杖」、「乳児・幼児」と続きます。



※ 表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがあります。

(3) バリアフリー化の重要度

- いずれの施設も重要度が1.0点以上と高くなっています。特に、障害者の重要度が全体と比較して高くなっています。

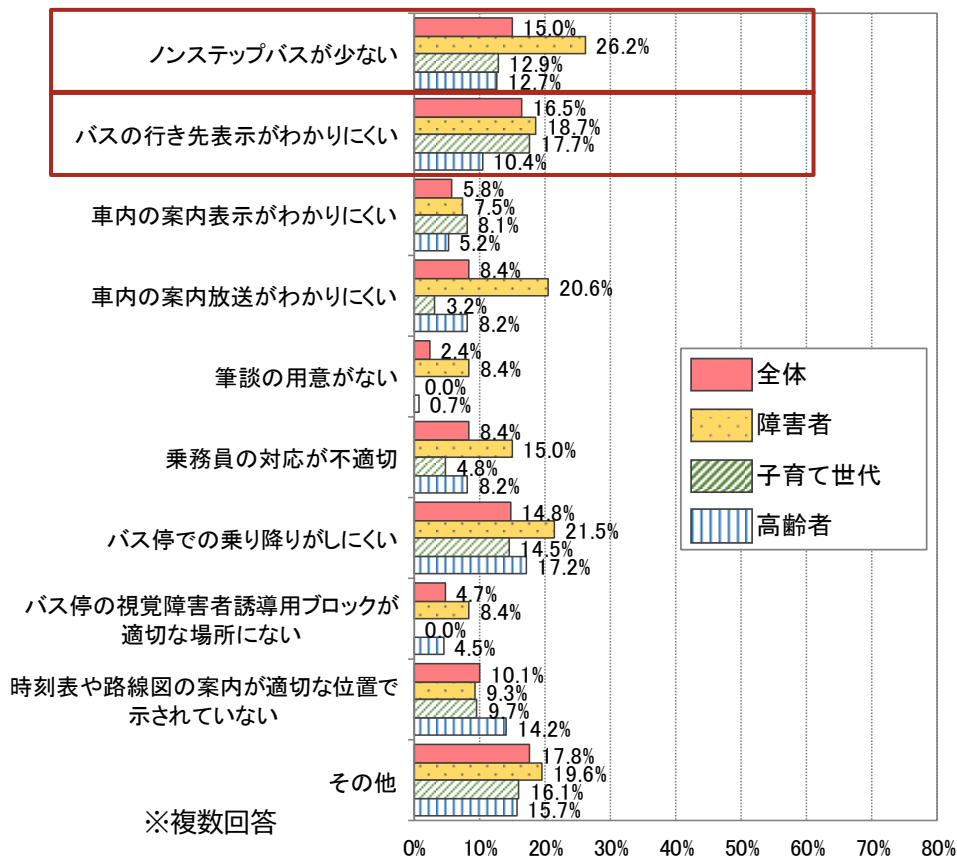


※ 「各項目に対する重要度」を以下のとおり点数化し、有効回答数に下記の点数を乗じて、重要度のレベルを算出 2点:「重要だ」、1点:「やや重要だ」、0点:「どちらともいえない」、-1点:「それほど重要でない」、-2点:「重要でない」

(4) 不便に感じること

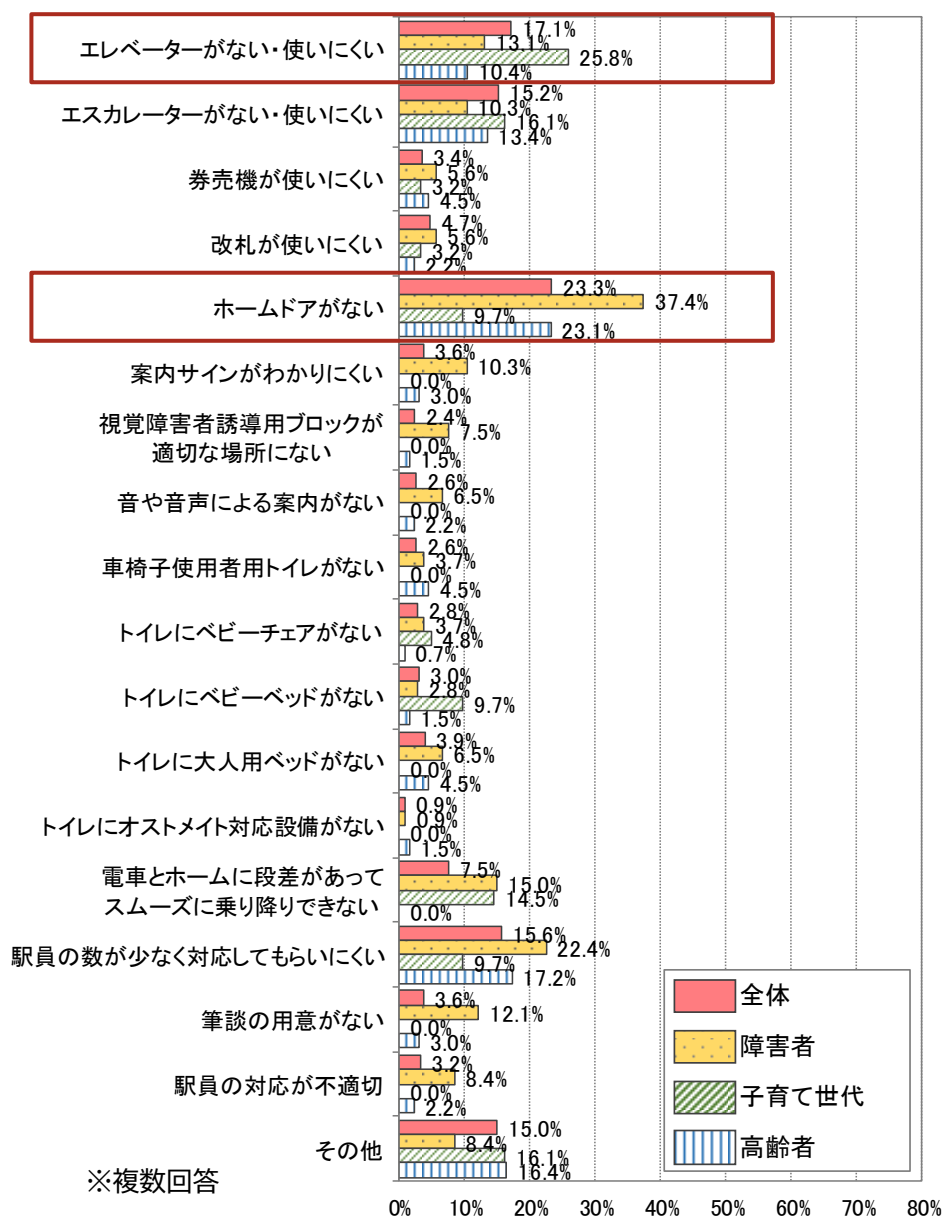
●路線バス

「ノンステップバスが少ない」・「バスの行き先表示がわかりにくい」の指摘が多くなっています。



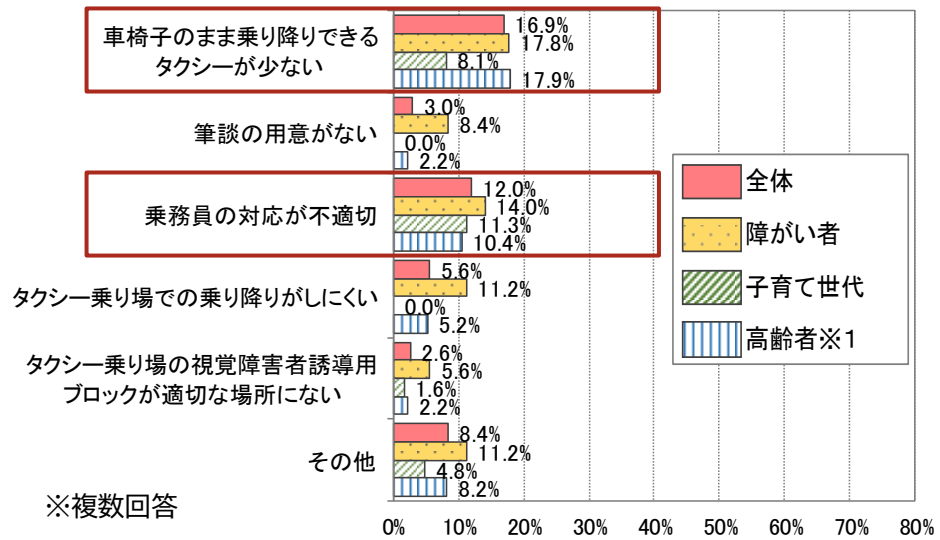
●駅

「ホームドアがない」・「エレベーターがない・使いにくい」の指摘が多くなっています。



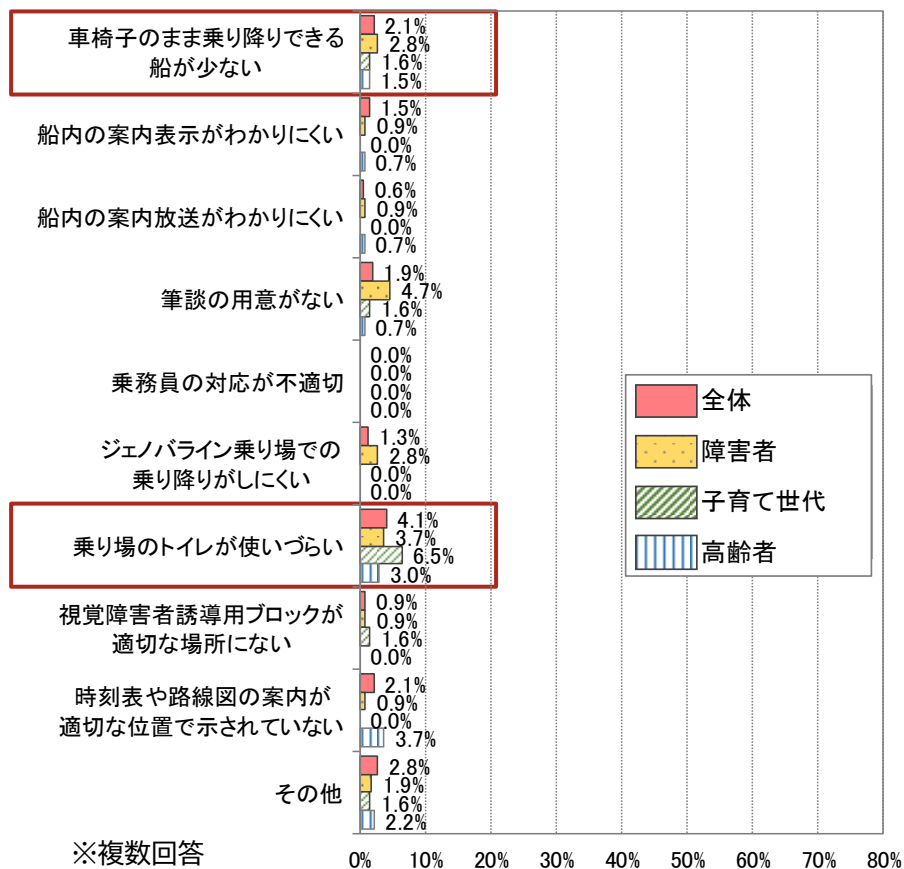
●タクシー

「車椅子のまま乗り降りできるタクシーが少ない」・「乗務員の対応が不適切」の指摘が多くなっています。



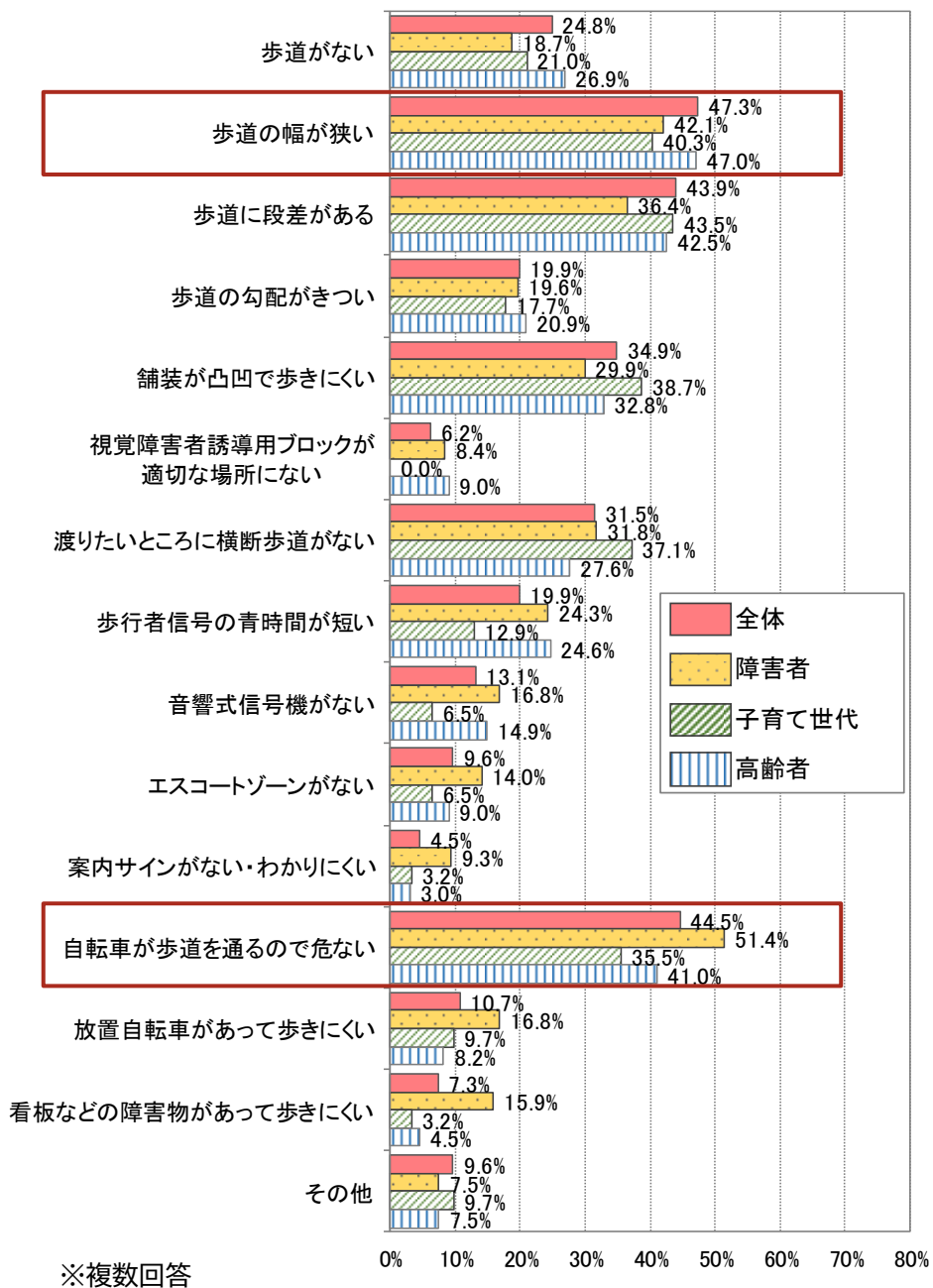
●旅客船舶

「乗り場のトイレが使いづらい」・「車椅子のまま乗り降りできる船が少ない」の指摘が多くなっています。



●道路や信号機等

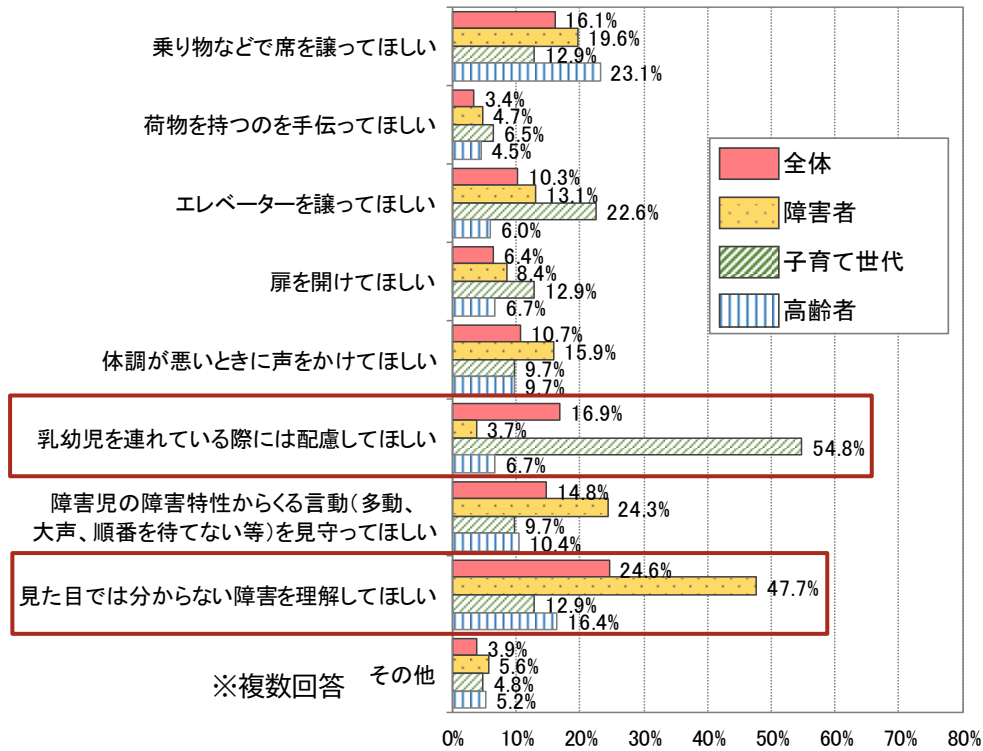
「歩道の幅が狭い」・「自転車が歩道を通るので危ない」の指摘が多くなっています。



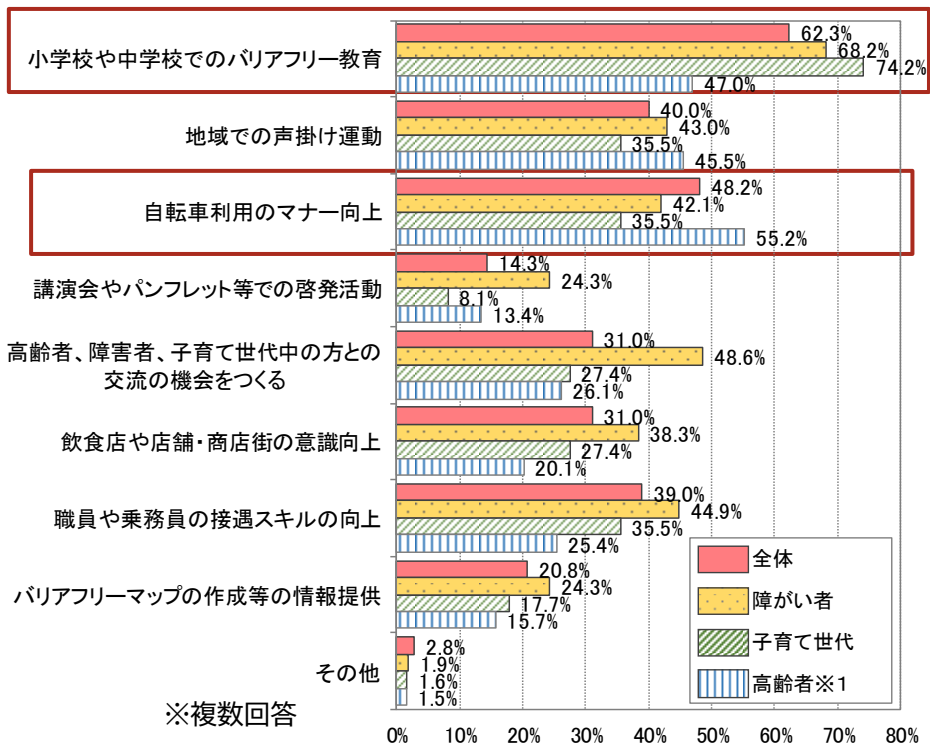
(5) 心のバリアフリー

- 外出時に手助けが必要なことは、全体で「見た目では分からない障害を理解してほしい」・「乳幼児を連れてある際には配慮してほしい」の指摘が多くなっています。
- 心のバリアフリーのために必要なことは、全体で「小学校や中学校でのバリアフリー教育」・「自転車利用のマナー向上」の指摘が多くなっています。

●外出時に手助けが必要なこと



●心のバリアフリーのために必要なこと

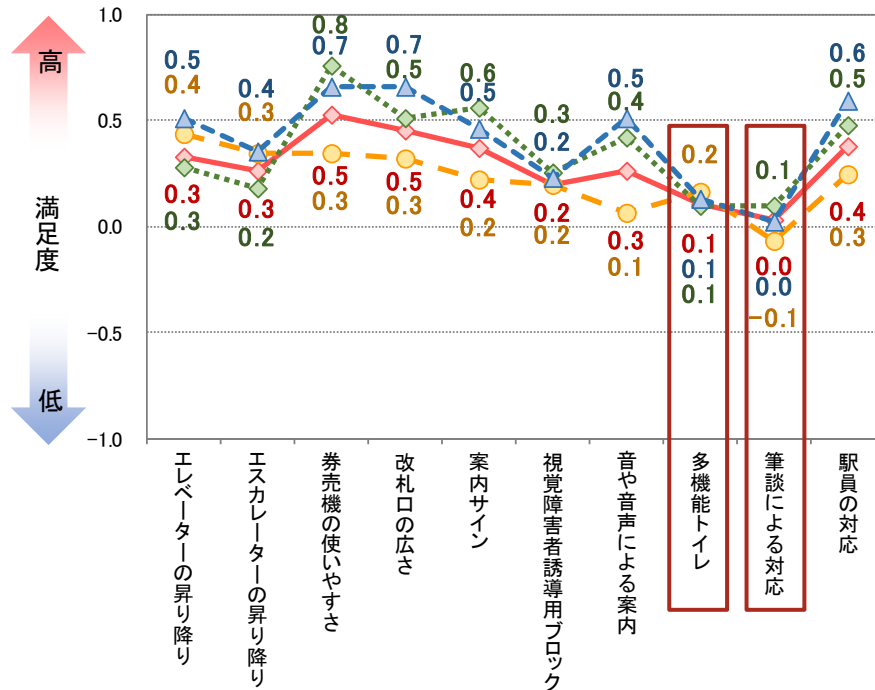


(6) 満足度

※ 「各項目に対する満足度」を以下のとおり点数化し、有効回答数に下記の点数を乗じて、満足度のレベルを算出
 2点:「非常に満足」、1点:「やや満足」、0点:「どちらともいえない」、-1点:「やや不満」、-2点:「非常に不満」

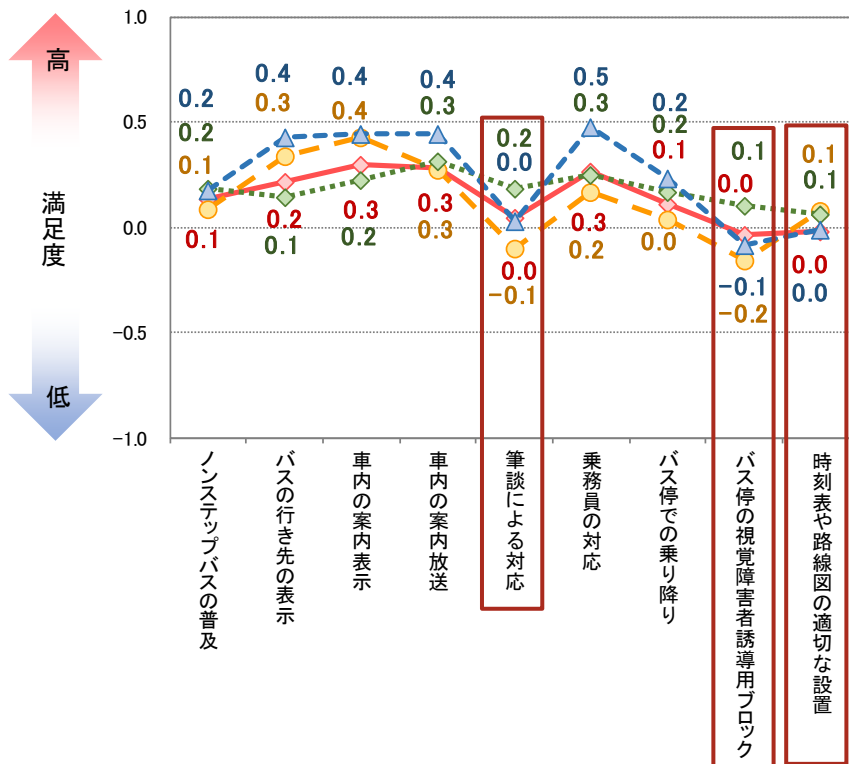
● 駅

「筆談による対応」・「多機能トイレ」の満足度が低くなっています。



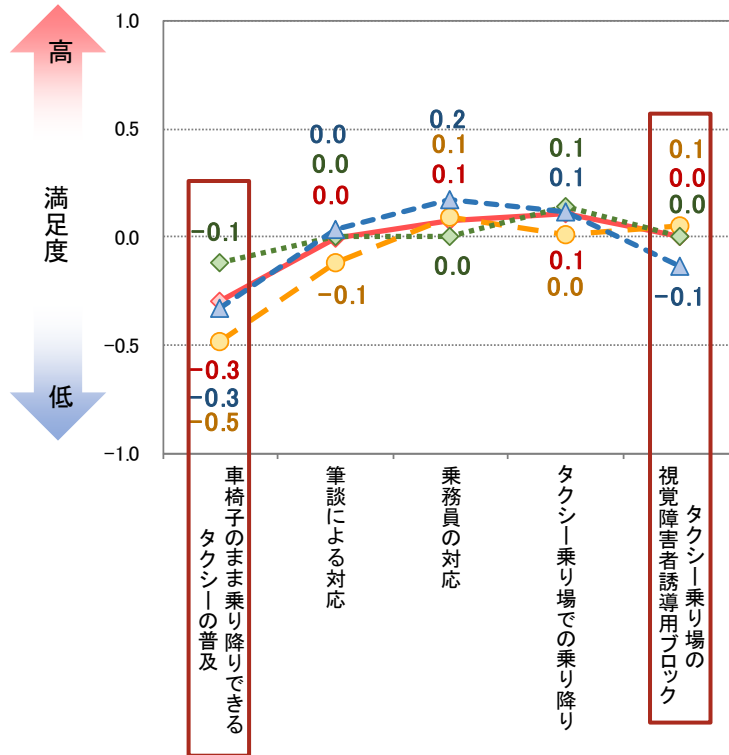
● 路線バス

「筆談による対応」・「バス停の視覚障害者誘導用ブロック」・「時刻表や路線図の適切な設置」の満足度が低くなっています。



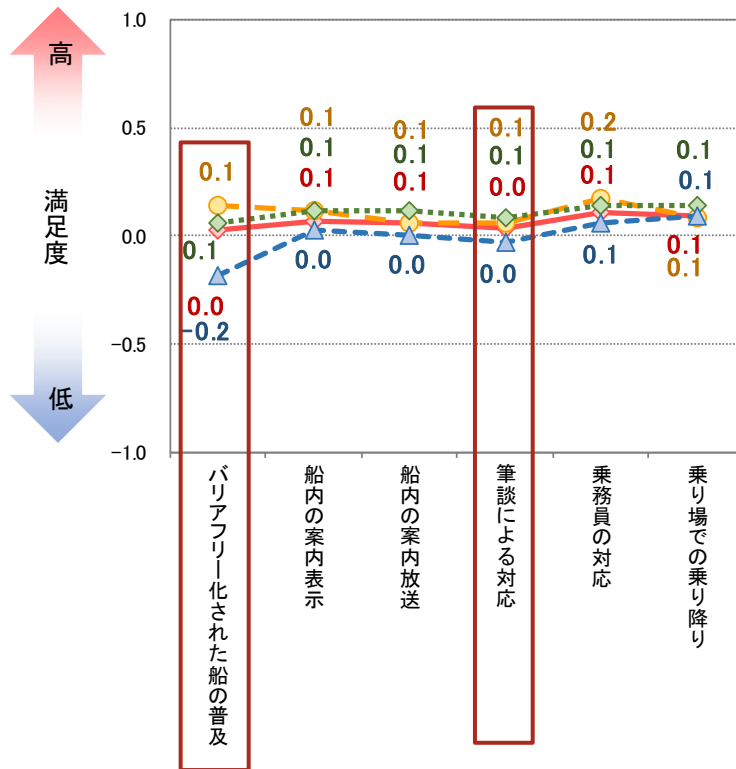
●タクシー

「車椅子のまま乗り降りできるタクシーの普及」・「タクシー乗場の視覚障害者誘導用ブロック」の満足度が低くなっています。



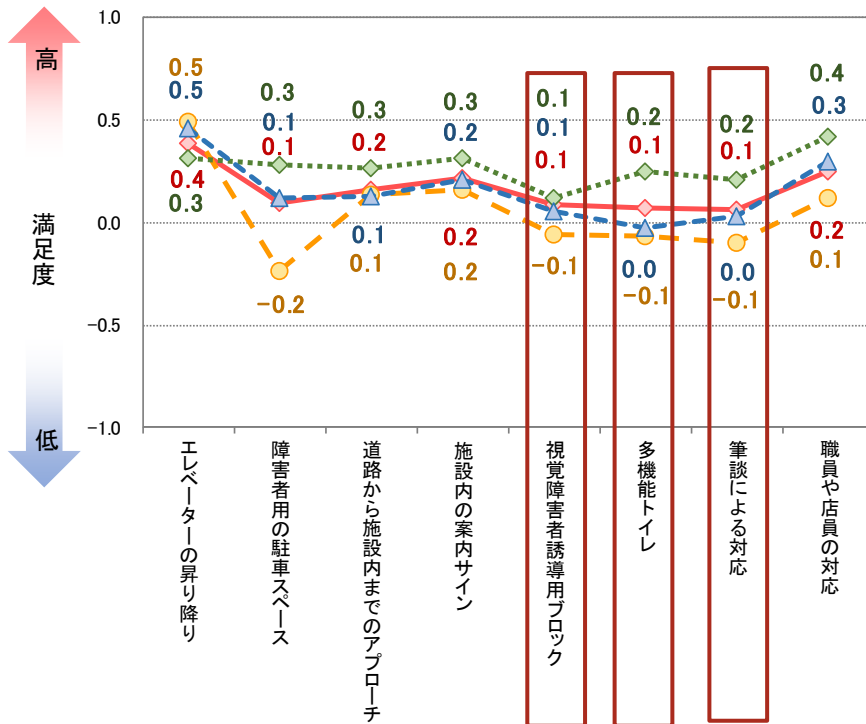
●旅客船舶

「バリアフリー化された船の普及」・「筆談による対応」の満足度が低くなっています。



●施設

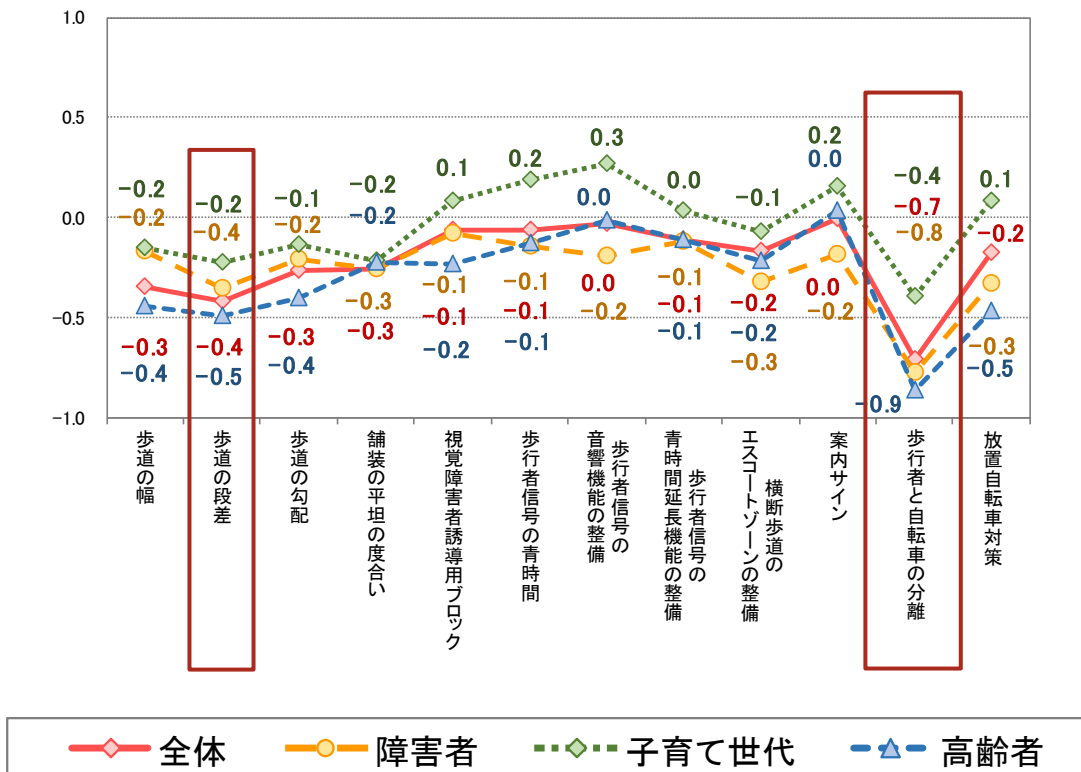
「視覚障害者誘導用ブロック」・「多機能トイレ」・「筆談による対応」の満足度が低くなっています。



●道路や信号機等

「歩行者と自転車の分離」・「歩道の段差」の満足度が低くなっています。

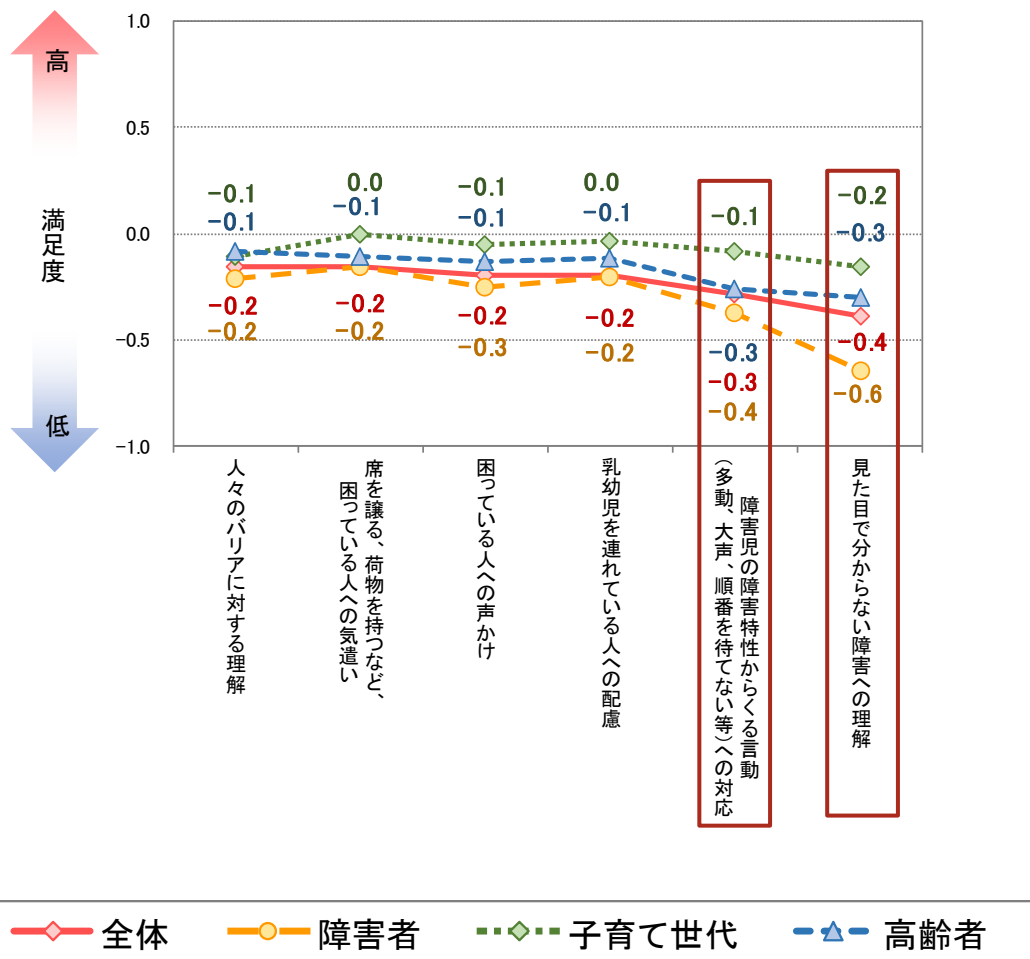
道路や信号機等は、他項目と比較して、満足度が全体的に低くなっています。



●心のバリアフリー

「見た目で見えない障害への理解」・「障害児の障害特性からくる言動への対応」の満足度が低くなっています。

他項目と比較して、満足度が全体的に低くなっています。



3. 今後の課題

本計画の基本構想策定においては、地域の方を中心に、障害当事者を含めまちあるきを行い、まちの課題を確認しました。

各地区の基本構想において特定事業と位置づけた事業の他、今後のユニバーサルデザインのまちづくりを進めるうえでの課題とする事業をまとめました。

(1) JR 西明石駅周辺地区

場所	課題
新幹線駅前広場	<ul style="list-style-type: none">・案内表示の充実・障害者用駐車スペース、一般車の一時停止スペースの確保
駅南側商店街	<ul style="list-style-type: none">・障害当事者を含む歩行者の安全性の確保(歩道の設置、幅員の確保、点字ブロックの設置、看板や商品などの撤去など)
JR 西明石駅	<ul style="list-style-type: none">・在来線ホームから駅の南側及び東側へ簡単にアクセスできるバリアフリールートの確保。・各改札に、車いす利用者を含め、誰でも利用しやすい券売機の設置。・障害当事者をはじめ、子育て世代から高齢者まで利用しやすいトイレの整備(駅東口)。
国道250号	<ul style="list-style-type: none">・アンダーパス区間の歩道の照度の確保(擁壁の色、照明の改善等)。・点字ブロックの敷設。